

令和5年度久喜市下水道事業会計決算審査意見

第1 審査の概要

1 準拠基準

久喜市監査基準

2 審査の対象

令和5年度久喜市下水道事業会計決算

3 審査の着眼点

決算書類等が関係法令に基づき調製され、かつ計数は、会計諸帳簿と符合し正確であるか、また、予算執行及び事業の経営管理は、公共の福祉を増進させ適正かつ効率的に運営されているか等に主眼をおいて審査した。

4 審査の主な実施内容

審査に付された決算書類等について、証憑突合、計算突合、質問、閲覧等の手法を用いて審査を実施した。

5 審査の期間

令和6年6月10日から令和6年8月1日まで

6 審査の結果

審査に付された決算書類は、地方公営企業法等関係法令の定めるところに準拠して作成されており、関係諸帳簿と証拠書類との照合の結果、計数は正確であり、財政状態が適正に表示されているものと認められた。

第2 経営分析

1 経営成績の概況

下水道事業の令和3年度から令和5年度の経営成績は、比較損益計算書（別表2）のとおりである。

令和5年度の損益収支をみると営業収益は1,805,457千円、営業費用は3,803,309千円となり、差し引き1,997,852千円の営業損失を生じている。

また、収益的収支の収入は4,304,970千円、収益的収支の支出は4,073,727千円となり、231,243千円の純利益となっている。

各事業における経営成績は次のとおりである。※使用料単価＝下水道使用料（円）÷年間有収水量（ m^3 ）、汚水処理原価＝汚水処理費（円）÷年間有収水量（ m^3 ）

① 公共下水道事業

営業収益は1,662,695千円、営業費用は3,283,026千円となり、差し引き1,620,331千円の営業損失を生じている。また、有収水量1 m^3 当たりの収益性をみると次のとおりである。

（単位：円）

区 分 \ 年 度	5	4	3	県内類似団体 平均(4年度)
使用料単価※	108.13	108.12	108.39	118.95
汚水処理原価※	150.00	150.00	150.00	132.83
差 引	△41.87	△41.88	△41.61	△13.88

この表から、令和5年度は使用料単価が汚水処理原価を41.87円下回っている。これは1 m^3 の処理に料金収入のみで賄えていないことを示している。

② 農業集落排水事業

営業収益は142,762千円、営業費用は520,284千円となり、差し引き377,522千円の営業損失を生じている。また、有収水量1 m^3 当たりの収益性をみると次のとおりである。

（単位：円）

区 分 \ 年 度	5	4	3	県内類似団体 平均(4年度)
使用料単価※	137.61	134.30	135.26	168.74
汚水処理原価※	215.62	194.72	217.36	222.19
差 引	△78.01	△60.42	△82.10	△53.45

この表から、令和5年度は使用料単価が汚水処理原価を78.01円下回っている。これは1 m³の処理に料金収入のみで賄えていないことを示している。

次に下水道事業の経済性を評定する経営比率を算出すると、次のとおりである。

区 分		年 度			算 式
		5	4	3	
経 営 資 本 営 業 利 益 率 (%)	公共下水道事業	△3.69	△3.63	△3.51	$\frac{\text{営業利益}}{\text{経営資本}} \times 100$
	農業集落排水事業	△4.36	△4.27	△4.41	
	計	△3.80	△3.74	△3.65	
経 営 資 本 回 転 率 (回)	公共下水道事業	0.04	0.04	0.04	$\frac{\text{営業収益}}{\text{経営資本}}$
	農業集落排水事業	0.02	0.02	0.02	
	計	0.03	0.03	0.03	
営 業 収 益 営 業 利 益 率 (%)	公共下水道事業	△97.45	△97.05	△93.76	$\frac{\text{営業利益}}{\text{営業収益}} \times 100$
	農業集落排水事業	△264.44	△261.75	△273.68	
	計	△110.66	△109.96	△107.82	

この表から、下水道事業の経済性を総合的に表示する令和5年度の経営資本営業利益率は、令和4年度に比べ0.06ポイント減少している。

(1) 施設の利用状況について

令和5年度の下水道事業の概要は別表1「事業規模の推移及び概要」のとおりである。

① 公共下水道事業

令和5年度の水洗化人口は98,445人で、前年度に比べて126人の減少、水洗化戸数は45,733戸で、前年度に比べて616戸の増加となっている。また、年間の汚水処理水量は13,874千m³、有収水量は11,611千m³で、前年度に比べて汚水処理水量は3.9%の減少、有収水量は0.7%の減少となっている。

② 農業集落排水事業

令和5年度の水洗化人口は8,879人で、前年度に比べて122人の減少、水洗化戸数は3,520戸で、前年度に比べて13戸の増加となっている。また、年間の汚水処理水量は1,037千m³で、前年度に比べて2.7%の減少となっている。

(2) 人件費と労働生産性について

下水道事業の全職員の平均年齢や平均勤続年数等は、次のとおりである。

区 分		年 度	5	4	3
全 職 員 (平 均)	基 本 給 (円)		335,307	332,158	329,333
	手 当 (円)		162,936	169,512	148,150
	年 齢 (歳)		44	43	45
	勤 続 年 数 (年)		20	20	19

損益勘定所属職員（16人）の人件費は、93,856千円となっており、その総費用に占める割合は、2.3%となっている。また、その使用料収入に対する割合は、6.7%となっている。

下水道事業の労働生産性等を示す指標は、下表のとおりである。

区 分		年 度	5	4	3
職員1人当たり 有 収 水 量 (m^3)	公共下水道事業		829,335	899,530	856,723
	農業集落排水事業		518,706	533,104	534,753
	計		790,506	850,673	816,477
職員1人当たり 営 業 収 益 (千円)	公共下水道事業		118,764	129,475	121,959
	農業集落排水事業		71,381	71,596	72,333
	計		112,841	121,758	115,755
職員1人当たり 水 洗 化 人 口 (人)	公共下水道事業		7,032	7,582	7,058
	農業集落排水事業		4,440	4,501	4,551
	計		6,708	7,171	6,745

この表から、下水道事業における労働生産性を最も端的に示す職員1人当たりの有収水量が令和4年度と比較して60,167 m^3 減少するなど、下降が見られたところである。

また、損益勘定所属職員の平均給与、労働生産性及び労働分配率の関係を分析すると、次の表のとおりであり、令和4年度と比較すると、労働分配率は増加しているが、平均給与及び労働生産性は減少している。

区 分 \ 年 度	5	4	3	算 式
平 均 給 与 (千円)	5,866	5,890	5,667	$\frac{\text{人件費}}{\text{損益勘定所属職員数}}$
労 働 生 産 性 (千円)	112,841	121,758	115,755	$\frac{\text{営業収益}}{\text{損益勘定所属職員数}}$
労 働 分 配 率 (%)	5.20	4.84	4.90	$\frac{\text{人件費}}{\text{営業収益}} \times 100$

(3) 一般会計からの繰入金について

令和5年度の他会計負担金は1,005,099千円（うち公共下水道事業803,966千円、農業集落排水事業201,133千円）で、これは下水道事業収益全体の23.3%となっている。

また、他会計補助金243,552千円（うち公共下水道事業157,873千円、農業集落排水事業85,679千円）が計上されていることは、地方公営企業法における経費負担の原則の観点から改善を要するものである。

(4) 支払利息について

令和5年度の支払利息は229,276千円（うち公共下水道事業182,748千円、農業集落排水事業46,528千円）で、総費用に占める割合は5.6%となっている。また、使用料収入に対する支払利息の割合が16.4%となっている。

2 財政状態について

本市の令和5年度の財政状態は「別表3 比較貸借対照表」のとおりである。

令和5年度末の総資産は53,077,920千円、負債は45,624,919千円、資本は7,453,001千円である。

企業債については、新規借入額は1,594,400千円（うち公共下水道事業1,297,700千円、農業集落排水事業296,700千円）、償還額は2,241,078千円（うち公共下水道事業1,807,852千円、農業集落排水事業433,227千円）であり、年度末残高は20,747,395千円（うち公共下水道事業17,338,431千円、農業集落排水事業3,408,964千円）となっている。

また、資本的収支の状況は、次のとおりである。

(単位：円)

区 分		年 度		
		5	4	3
資本的 収入	公共下水道事業	1,806,593,693	2,054,979,660	1,932,520,106
	農業集落排水事業	462,058,000	361,903,679	275,144,000
	計	2,268,651,693	2,416,883,339	2,207,664,106
資本的 支出	公共下水道事業	2,725,191,469	2,995,453,387	2,811,334,992
	農業集落排水事業	603,495,612	514,413,741	427,401,762
	計	3,328,687,081	3,509,867,128	3,238,736,754
収 支 差 引 額		△1,060,035,388	△1,092,983,789	△1,031,072,648

この表から、令和5年度における資本的収支の不足額は、1,060,035千円となっている。この不足額は、減債積立金、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金及び当年度利益剰余金処分額で補填されている。

次に、資金の変動状況は「別表5 比較キャッシュ・フロー計算書」のとおりである。

投資活動により資金が359,104千円、財務活動により資金が646,678千円それぞれ減少している一方、業務活動により資金が1,163,648千円増加したことにより、令和5年度の資金増加額は157,865千円となっている。

下水道事業の財務の短期流動性を示す流動比率、財務の長期健全性を示す自己資本構成比率及び固定資産対長期資本比率を算出すると、次のとおりである。

(単位：%)

区 分		年 度		
		5	4	3
流 動 比 率		40.27	32.62	31.80
自 己 資 本 構 成 比 率		58.90	58.67	58.70
固 定 資 産 対 長 期 資 本 比 率		103.94	104.12	104.06

この表から、流動比率、自己資本構成比率は令和4年度と比べ、それぞれ7.65ポイント、0.23ポイント増加し、固定資産対長期資本比率は、0.18ポイント減少した。

3 建設改良事業について

建設改良事業には、1,086,819千円（うち公共下水道事業916,550千円、農業集落排水事業170,269千円）が投じられた。

公共下水道事業においては、下水道管布設工事、下水道管布設工事関連業務委託、令和5年度桜田雨水ポンプ場機械設備更新工事等を実施した。令和5年度末現在の公共下水道整備面積は1,930.3haで、前年度の1,925.4haより4.9ha増加した。

農業集落排水事業においては、太田袋地区管路・中継ポンプ施設機能強化工事、太田袋地区処理施設機能強化工事（土木・建築）、太田袋地区処理施設機能強化工事（機械設備）等を実施した。

4 む す び

以上が令和5年度久喜市下水道事業会計決算の概要である。

はじめに、下水道事業全体の損益収支をみると、営業収支は1,997,852千円の営業損失を生じているものの、他会計補助金等による営業外収支を含めた経常収支では232,417千円の経常利益で、純利益は231,243千円を生じている。依然として、一般会計からの補助金等に依存しており、下水道事業単独では厳しい財政状況が続いている。

一方、財務比率等をみると、自己資本構成比率は58.90%で、前年度より0.23ポイント増加となっており、流動比率は40.27%で、前年度より7.65ポイント増加となっている。

次に、各事業についてみると、公共下水道事業については、収益性を示す有収水量1 m³当たりの使用料単価は、汚水処理原価を41.87円下回っている。整備面積は前年度より0.3%増加したが、水洗化人口は0.1%減少した。これにより、事業の経営指標である水洗化率は93.1%で、前年度より0.2ポイント減少している。

他方、農業集落排水事業については、収益性を示す有収水量1 m³当たりの使用料単価は、汚水処理原価を78.01円下回っている。事業の経営指標である水洗化人口は前年度より1.4%減少した一方、水洗化率は処理区域内人口の減少により、前年度より0.3ポイント増加し90.2%となっている。

終わりに、下水道は公衆衛生の向上や浸水被害の軽減に資するなど、市民生活や経済活動に欠かすことのできない重要な都市基盤施設である。しかし、公共下水道事業については、事業計画区域内において、依然として未整備の地域が存在していることから、今後も未整備地域の解消に努めていただきたい。

さらに、施設の老朽化に伴う大規模な更新費用が見込まれる等、下水道事業の経営にとっては大変厳しい状況が予想されるが、公営企業経営の原則である独立採算に少しでも近づけるよう努めていただき、久喜市下水道事業中期経営計画（経営戦略）にある「安定した経営の持続と公平なサービスの実現」という本市の下水道事業の将来像へ向かって、様々な施策が展開されることを要望する。